

第97回 日本繁殖生物学会大会開催要領

皆様、広島へようこそ！

第97回日本繁殖生物学会大会を下記の要領で開催いたします。

本大会では、優秀発表賞二次審査（口頭発表部門：8題、ポスター発表部門：4題）、一般発表（149題：口頭発表76題、ポスター発表73題）に加えて、日韓合同シンポジウム、若手企画シンポジウム、特別講演、ランチョンセミナー、市民公開講座、企業展示が催されます。

今回の広島大会では、会員のための口頭発表に十分な時間を確保し（10分発表、5分議論の予定）、また、ポスターセッションについても、ポスターを見る時間と議論できる時間を十分に設けています。従って、最新の研究成果について、是非とも活発で建設的な議論をして頂きたいと考えています。

優秀発表賞は、エントリーがあった発表について一次審査（書類選考）によりすでに口頭発表部門：8題、ポスター発表部門：4題が選出されており、初日のスターティング・プログラムとして二次審査が行われます。優秀発表賞は、研究内容に加えてプレゼンそのものと発表後の議論にも評価の重点が置かれますので、二次審査に望まれる方は、十分な準備をし、本番に望んでください。

広島大会では口頭発表に十分な時間を確保し、更に日韓合同シンポジウム、特別講演等の企画も盛り込んだため、スケジュールの関係上10名以上の方々に口頭発表からポスター発表に変更して頂きました。変更を受け入れて下さった方々に対して、この紙面を借りてお礼申し上げます。

初日の優秀発表賞の二次審査に続き、午後には、本学会初の試みである日韓合同シンポジウムが開催されます。後のページにテーマ、演者および内容が詳しく記述されています。このシンポジウムに多数ご参加くださり、議論を盛り上げて頂ければと考えています。

また、2日目の午後には、黄体機能の研究と牛群の繁殖管理法の開発で実績のある Dr. Milo C. Wiltbank (Department of Dairy Science, University of Wisconsin-Madison) および栄養と生殖の神経内分泌の第一人者である Dr. Douglas L. Foster (Reproductive Sciences Program, University of Michigan) の特別講演を予定していますので、ご期待下さい。

最終日（9月18日）の夕方には、「人はこれから野生動物とどのように付き合っていけばよいのか? - 主に生殖の立場から - 」と題して市民公開講座を開催します。本企画は、次世代を担う中学生と高校生を対象に、人間と野生動物との共生をテーマに、ワイルドライフサイエンス研究の重要性を伝える場を提供することを目的としていますが、大会参加者の方々もこの講座に多数参加くださるようお願いいたします。

広島大会関係者一同、皆様方が広島で充実した3日間を過ごしていただけますよう、祈っております。

記

1. 期日 2004年9月15日（水） 評議員会、各種委員会
16日（木） 優秀発表賞（口頭発表8題、ポスター発表4題）、一般口頭発表、日韓合同シンポジウム、第5回若手企画シンポジウム
17日（金） 一般口頭発表、一般ポスター貼り出し、ランチョンセミナー、特別講演、総会、受賞者講演、優秀発表賞授与、JRD 優秀論文賞授与、

懇親会

18日(土) 一般口頭発表, 一般ポスター発表, ランチョンセミナー, 市民公開講座

2. 会場 広島大学総合科学部 (評議員会, 各種委員会の会場は, 生物生産学部)

3. 会長 寺田 隆登

4. 連絡先 〒739-8528 東広島市鏡山1丁目4-4

広島大学大学院生物圏科学研究科 第97回日本繁殖生物学会 大会事務局
(広島大学大学院生物圏科学研究科 応用動物科学講座内)

TEL: 082-424-7952 FAX: 082-424-7988

E-Mail: temaeda@hiroshima-u.ac.jp

広島大学

会長 寺田 隆登 TEL: 082-424-7953 FAX: 082-424-7988 E-Mail: tterada@hiroshima-u.ac.jp

事務局長 前田 照夫 TEL: 082-424-7952 FAX: 082-424-7988 E-Mail: temaeda@hiroshima-u.ac.jp

吉村 幸則 TEL: 082-424-7958 FAX: 082-424-7958 E-Mail: yyosimu@hiroshima-u.ac.jp

磯部 直樹 TEL: 082-424-6932 FAX: 082-424-6932 E-Mail: niso@hiroshima-u.ac.jp

島田 昌之 TEL: 082-424-7899 FAX: 082-424-7899 E-Mail: mashimad@hiroshima-u.ac.jp

山口大学

中尾 敏彦 TEL: 083-933-5935 FAX: 083-933-5935 E-Mail: tnakao@yamaguchi-u.ac.jp

広島県立大学

堀内 俊孝 TEL: 08247-4-1750 FAX: 08247-4-1750 E-Mail: toshi@bio.hiroshima-pu.ac.jp

5. 参加費 学会正会員 5,000円

学生会員 3,000円

非会員 6,500円

但し, 8月号と同封で事前送付される講演要旨集代を含みます。

発表予定者には講演要旨集が郵送されます。

参加費は当日会場の受付でお支払い下さい。

学会へは講演要旨集を御持参下さい!!

6. 一般講演

一般講演は, 口頭発表(2会場; 発表10分, 議論5分)とポスター発表(1時間)を行います。講演申し込みの折, 分野を記入して頂きましたが, 分野と講演内容を基に事務局で整理を行い, できるだけ近い内容が連

続するようにアレンジしました。

7. 発表形式

口頭発表会場には、液晶プロジェクター（パワーポイント）方式を用います。各会場には、液晶プロジェクターとパソコン（PC）一式を用意します。基本的には、演台で演者が自らパソコンを操作して発表していただきますが、補助者が必要な場合は発表者側で操作願います。以下に条件の詳細を述べますので必ず熟読いただき、発表時のトラブルを避けるようお願いいたします。御存じのように、液晶プロジェクター方式で1度トラブルが発生すると、大きな時間のロスが発生し、セッション全体に影響します。

1) 口頭発表

- ・発表時間は10分、討論5分、計15分間です。演者は時間厳守をお願いします。
- ・演者は、発表されるセッションが始まる **60分前まで（早い受付は大歓迎）**に、会場入り口付近に設置される窓口でファイル受付をすませてください。朝9時からのセッションの方は、**必ず前日夕方まで**に受付をすませてください。各セッションの開始までに、全ての演者のプレゼンテーションファイルをあらかじめパソコンへ移す作業を行います。
- ・**CD** あるいは **USB フラッシュメモリ**でファイルをご持参ください。また、今回広島大会では**ファイルの事前受付も行なう予定です。事前受付に関する要領は、JRD ホームページに8月中旬に掲載します。**
- ・使用するパソコン（内蔵メモリ 256MB）のOSは、Windows XP、プレゼンテーションソフトは、PowerPoint 2003です。ご持参いただくデータが、上記システムおよびソフトウェア上で問題なく操作できることを、必ず事前にご確認ください。
- ・なお、不測の事態に備え、OHPによる発表も可能なよう準備されることをお勧めいたします。

チェックリスト

- ・プレゼンテーションは、PowerPointで作成あるいはPowerPointファイルに変換されていますか？
- ・ファイルは、Windows XP（システム）下のPowerPoint 2003（プレゼンテーションソフト）で、問題なく操作できますか？
- ・アニメーションやその他容量の大きなファイルを用いて発表される場合、使用するパソコン（内蔵メモリ 256MB）の機能で、問題なく動作しますか？
- ・ファイルをCDあるいはUSBフラッシュメモリに保存しましたか？
- ・準備したCDあるいはUSBフラッシュメモリからのファイル読み込みと動作の確認をしましたか？

Macintosh ユーザーの方へ（上記のほか以下のことにご注意ください！）

- ・プレゼンテーションは、Windows版PowerPointファイルに変換されていますか？
- ・変換されたファイルについて、Windows XP（システム）下のPowerPoint 2003（プレゼンテーションソフト）で操作した場合、文字化けや位置のずれなどを確認・修正しましたか？

2) ポスター発表

- ・ポスター用ボードのサイズは、横90cm×縦180cmです。
- ・演者は9月17日（金）の8:30～16:00間（できれば午前中をお願いします）に、ラウンジに設置してあるボードにポスターを貼ってください。
- ・ポスターは各自で用意した画びょうまたはピン（事務局では準備しません）で固定してください。
- ・演者は発表時間である9月18日（土）の11:00～12:00の60分間は各自のポスターの前で対応してく

ださい。

- ・ポスターは9月18日(土)の夕方17:00までに撤去してください。

8. 優秀発表賞の二次審査方法

すでに一次審査が終了し、口頭発表部門：8題、ポスター発表部門：4題が選出されております。これらの演題が、学会評議員によって審査され、それらの評点をもって大会長が受賞者を決定します。この際、審査員はすべての発表の評点を行わなければなりません。従って、発表者はどの分野の研究者や大学院生にも興味を喚起し、理解できるプレゼンを求められます。受賞対象枠は、現時点では各部門2題程度を想定しています。ポスター発表部門では、座長のほかに司会者(進行係)を設けておりますので、当日は司会者の指示に従って下さい。なお、今回の評点の項目と配点を列記しますので、予定者の方々は参考にして下さい。

口頭発表部門

・発表

- ✓ 研究の質(20p)：質の高い内容か？
- ✓ 口頭発表(20p)：分かりやすい発表か？(表現力など)
- ✓ スライド(10p)：分かりやすいスライドか？(見やすさなど)
- ✓ バランス(10p)：各セクション(イントロ、方法、など)のバランス
- ✓ 要旨との整合性(20p)：要旨とのコーディネーション(要旨と発表内容が補完しあっているか？)

・質疑応答

- ✓ 質問に対する対応(20p)：質問に適確に答えられるか？

ポスター発表部門

・ポスター

- ✓ 研究の質(20p)：質の高い内容か？
- ✓ テキスト(20p)：適確で分かりやすいか？
- ✓ 図表(10p)：必要な情報が適確に分かりやすく提示されているか？
- ✓ バランス(10p)：各セクション(イントロ、方法、など)のバランス
- ✓ 要旨との整合性(20p)：要旨とのコーディネーション(要旨と発表内容が補完しあっているか？)

・質疑応答

- ✓ 質問に対する対応(20p)：質問に適確に答えられるか？

9. 各種委員会(9月15日(水)生物生産学部で開催、案内図ページ?を参照)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1) 理事会 | 17:00~18:00 |
| 2) 評議員会(夕食付き) | 18:00~19:00 |
| 3) 編集委員会 | 16:00~17:00 |
| 4) 表彰選考委員会 | 15:00~16:00 |
| 5) 学術集会等検討委員会 | 15:00~16:00 |
| 6) 広報委員会 | 15:00~16:00 |
| 7) 若手奨励策検討委員会 | 15:00~16:00 |

10. 日韓合同シンポジウム (9月16日, 16時00分~18時30分, 会場: 第1会場 (K108))

シンポジウムのテーマ: **Fertility control in female domestic animals: From basic understanding to application**

シンポジウムの演者と内容:

1. Dr. E. Sato, 佐藤英明 (日本繁殖生物学会理事長, 東北大学大学院農学研究科, 動物生殖科学分野)
 - ・ Welcome address (歓迎の辞)
2. Dr. CS Park (Department of Animal Science, Kyung Sang University, Korea)
 - ・ Current research orientation in livestock reproduction in Korea (Including opening remarks) (韓国の家畜生産における研究動向の今)
3. Dr. Y. Hirao, 平尾雄二 (独立行政法人, 農業技術研究機構, 東北農業研究センター, 畜産草地部, 育種繁殖研究室)
 - ・ The basis of the oocyte production (卵子生産の基本条件)
4. Dr. Deog-Bon Koo (Animal Developmental Biotechnology Laboratory, Korea Research Institute of Bioscience and Biotechnology, Korea)
 - ・ In vitro production of porcine embryos (豚胚の体外生産)
5. Dr. N. Kawate, 川手憲俊 (大阪府立大学大学院農学生命科学研究科 獣医繁殖学研究室)
 - ・ Hormonal control of follicular maturation, and luteal development and maintenance in domestic ruminants (反芻家畜における卵胞成熟および黄体発育・維持のホルモンによる調節)
6. Dr. Ill Hwa Kim (Laboratory of Theriogenology, College of Veterinary Medicine, Chungbuk National University, Korea)
 - ・ Synchronization of estrus and ovulation in dairy cattle (乳牛における発情および排卵の同期化)
7. Dr. M. Nishigai 西貝正彦 (那須イーティ研究所)
 - ・ Improvement of pregnancy rates by efficient selection of recipients in bovine embryo transfer (牛胚移植における受胎牛の効率的な選別による受胎率の向上)

11. 第5回若手企画シンポジウム (若手奨励策検討委員会主催) 会場: ラウンジ

毎年好評を頂いている若手企画シンポジウムを今年も開催します。「参加者同士の出会いと交流の場」を提供することに主眼をおいた, ざっくばらんなパーティー形式です。今年の日韓合同シンポジウム直後の開催となり, 韓国からの参加者も交えた「日韓研究者の交流」も大いに期待できる企画となります。いくつかの研究室から研究内容や研究室の雰囲気わかるポスターを展示してもらい, これらのポスターを話題にしながら活発な交流ができればと考えています。ポスター展示については自薦他薦を問いません。ぜひ自分達の研究室を紹介したいと希望される方は若手奨励策検討委員会までご連絡下さい。シンポジウムの詳細は追って学会HPにてお知らせします。今年も参加者全員が主役です! 若手と呼べる, あるいは呼ばれたい方ならどなたでも是非ご参加下さい!!

日時：9月16日（木）18：30より

場所：ラウンジ（ポスター会場）

※本シンポジウムでは、**広島風お好み焼き（熱々焼きたて）**と飲み物を用意する予定です。

12. 特別講演（9月17日，13時30分～15時30分，会場：第1会場（K108））

特別講演では、黄体機能の研究と牛群の繁殖管理法の開発で実績のある Dr. Milo C. Wiltbank と栄養と生殖の神経内分泌の第一人者である Dr. Douglas L. Foster から下記の興味深いテーマで講演頂きますので、ご期待下さい。

1. Dr. Milo C. Wiltbank

(Department of Dairy Science, University of Wisconsin-Madison, USA)

Title: The underlying physiology changing reproduction in today's high-producing lactating dairy cows

2. Dr. Douglas L. Foster

(Obstetrics & Gynecology and Ecology & Evolutionary Biology Research Scientist, Reproductive Sciences Program, University of Michigan, USA)

Title: Novel hypothesis for sexual differentiation of the control of GnRH secretion: implications for fetal origins of female reproductive dysfunction

13. 総会および受賞者講演

1) 総会 日時：9月17日（金） 16:00-17:00 会場：第1会場（K108）

2) 受賞者講演 日時：9月17日（金） 17:00-18:00 会場：第1会場（K108）

(1) 日本繁殖生物学会賞・学術賞

1. 「哺乳類卵母細胞の体外発育に関する研究」

宮野 隆 会員（神戸大学農学部）

2. 「霊長類の生殖に関わる内分泌機構」

清水 慶子 会員（京都大学霊長類研究所）

(2) 日本繁殖生物学会賞・技術賞

1. 「発生工学の家畜生産への応用に関する研究」

牛島 仁 会員（千葉県畜産総合研究センター）

2. 「乳牛の排卵同期化・定時人工授精の実用化と応用に関する研究」

山田 恭嗣 会員（根室地区農業共済組合標津家畜診療所）

14. ランチョンセミナー

セミナー1

開催日：9月17日（金）12:30-13:20

会場：ランチョンセミナー会場（K110）

講師名：植田 祐二 氏

(武田シエリング・プラウ アニマルヘルス株式会社ライブストック事業部マーケティング部)

演 題：産業動物における NSAIDs の応用およびフォーベット 50 注射液の製品

内 容：

NSAIDs とは Non-Steroid Anti-Inflammatory Drugs の略で、非ステロイド系の抗炎症剤ということです。医薬や小動物の分野では NSAIDs という言葉は一般的に用いられており、病院などで処方されています。産業動物においては抗菌剤の繁用を避けるという意味からも今後有効な抗炎症剤の併用の必要性がでてきます。フォーベット 50 注射液は日本初の牛向けの本格的な NSAIDs であり、本年度から臨床現場において解熱・消炎・鎮痛を目的に応用されています。本剤の薬効薬理を説明するとともにご紹介します。御来聴をお待ちしております。

セミナー 2

開催日：9月18日(土) 12:00-12:50

会 場：ランチョンセミナー会場 (K110)

演 題：CIDR1900 について

演 者：ファイザー株式会社

内 容：CIDR1900 は 2004 年 7 月に日本において承認された膣内挿入型プロゲステロン製剤である。今回は最新の知見を交えながら概要を紹介する。

15. 懇親会 (立食パーティー形式)

酒どころ西条には、10 以上もの酒蔵があります。本懇親会では西条の色々な銘柄のお酒を皆様に味わって頂くとともに、瀬戸の海産物も賞味して頂ければと考えております。一日の疲れをほぐし、ゆったりとした気分での会員同士の歓談は、きっと新しい発見や収穫につながる事でしょう。ご期待ください。

日 時：9月17日(金) 18:00-20:00

会 場：懇親会会場 (西第2 福利会館)

参加費：会員 4,000 円

学生会員 2,000 円

受け付け時にお払い下さい。

16. 市民公開講座

本企画は、次世代を担う中学生と高校生を対象に、人間と野生動物との共生をテーマに、ワイルドライフサイエンス研究の重要性を伝える場を提供することを目的としています。

「人はこれから野生動物とどのように付き合っていけばよいのか? - 主に生殖の立場から -」

日時：9月18日(土) 17時30分～19時30分

会場：大講義室 (L102)

司会：佐々田比呂志 (東北大学・助教授)

パネリスト： 福井 豊 (帯広畜産大学・教授)

福本幸夫 (広島市安佐動物公園・園長)

楠比呂志 (神戸大学・助手)

谷田 創 (広島大学・助教授)

「クジラの繁殖」

「チンパンジーの人工繁殖」

「ツシマヤマネコの繁殖」

「イノシシの行動」

17. サテライトシンポジウム

第 97 回日本繁殖生物学会大会サテライトシンポジウム「Current Status and Perspectives in Reproductive Biology and Biotechnology」が、京都で開催されます。

日 時：2004 年 9 月 19 日（日曜日）～20 日（月曜日）

会 場：京都大学国際交流会館（芝蘭会館）

(<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/japanese/event/shiranhall.html>)

--Current Status and Perspectives in Reproductive Biology and Biotechnology--

9 月 19 日（日）

- 1) Pheromonal and Olfactory Control of Reproductive Behavior
- 2) The 3rd Pacific Conference on Reproductive Biology and Environmental Sciences

9 月 20 日（月・祝）

- 3) The 9th Asian Symposium on Animal Biotechnology
- 4) Cutting-edge Technologies in Embryonic Manipulation

詳細は追って web ページにてお知らせします。

18. 学会会場への案内（広島大学ホームページwww.hiroshima-u.ac.jpの交通アクセスにも詳細が載っています。）

学会当日の朝、西条駅バス乗り場の混雑が予想されますので、余裕も持って
宿泊所を出発ください！！

_JR 西条駅から会場へのアクセス

- ・バスで約 20 分（280 円）
- ・タクシーで約 15 分（約 1,600 円）

_新幹線東広島駅から会場へのアクセス

- ・バスで約 15 分（便数が極端に少ない、370 円）
- ・タクシーで約 15 分（約 1,800 円）

_広島空港から会場へのアクセス

- ・バス（約 13 分、380 円）_JR 白市駅（約 10 分、190 円）_JR 西条駅_会場
- ・タクシーで約 40 分（約 6,000 円）

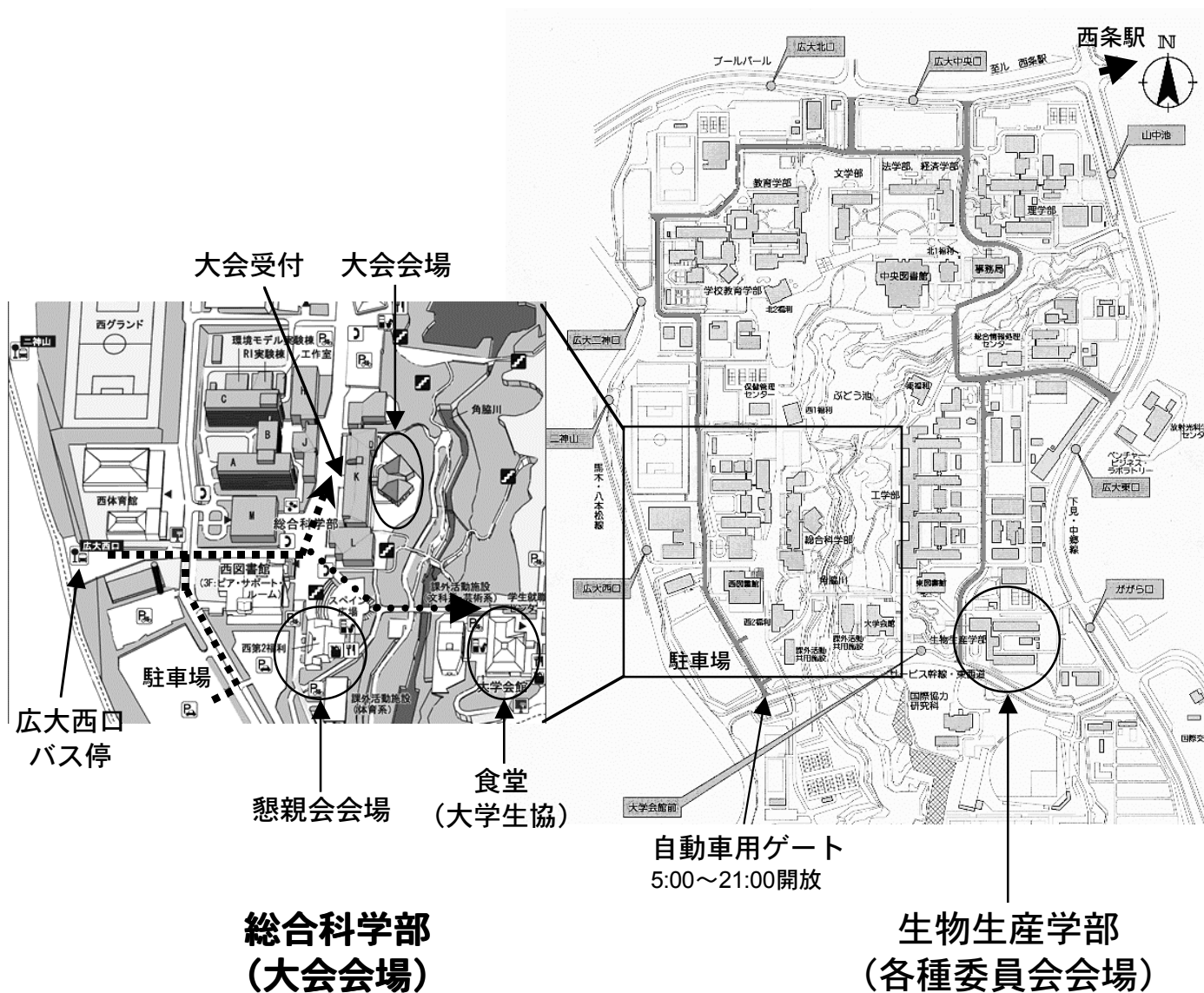
_広島市内から会場へのアクセス

- ・JR 広島駅（約 30 分、570 円）_JR 西条駅_会場

大会日程表

日付	時間	会場入口	第1会場 (K108)	第2会場 (K107)	ラウンジ	生物生産学部	K110	L102
9月15日	15:00 19:00					各種委員会		
9月16日	8:30	大会受付			優秀ポスター賞 (ポスター貼り出し)			
	9:00	↓	優秀発表賞二次審査 (演題番号: 1-8)		↓			
	11:00		ブレイク					
	11:30					優秀ポスター賞二次審査 (演題番号: 9-12)		
	12:30		昼食休憩					
	13:30							
	13:30		一般口頭発表 (演題番号: 13-20)	一般口頭発表 (演題番号: 51-58)				
	15:30		ブレイク					
	16:00		日韓合同シンポジウム					
	18:30							
20:00						若手企画シンポジウム		
9月17日	8:30	大会受付			↓	一般ポスター貼り出し		
	9:00	↓	一般口頭発表 (演題番号: 21-26)	一般口頭発表 (演題番号: 59-64)				
	10:30		ブレイク					
	11:00		一般口頭発表 (演題番号: 27-32)	一般口頭発表 (演題番号: 65-70)				
	12:30		昼食休憩					
	13:30							ランチョン セミナー1
	13:30		特別講演					
	15:30		ブレイク					
	16:00		総会					
	17:00							
	17:00		受賞者講演					
	18:00			懇親会 (西第2福利会館)				
20:00								
9月18日	8:30	大会受付			↓	一般ポスター発表		
	9:00	↓	一般口頭発表 (演題番号: 33-38)	一般口頭発表 (演題番号: 71-76)				
	10:30		ブレイク					
	11:00							
	12:00		昼食休憩					
	13:00							ランチョン セミナー2
	13:00		一般口頭発表 (演題番号: 39-44)	一般口頭発表 (演題番号: 77-82)				
	14:30		ブレイク					
	15:00		一般口頭発表 (演題番号: 45-50)	一般口頭発表 (演題番号: 83-88)				
	16:30							
	17:30							
19:30						市民公開講座		

第97回日本繁殖生物学会大会会場案内

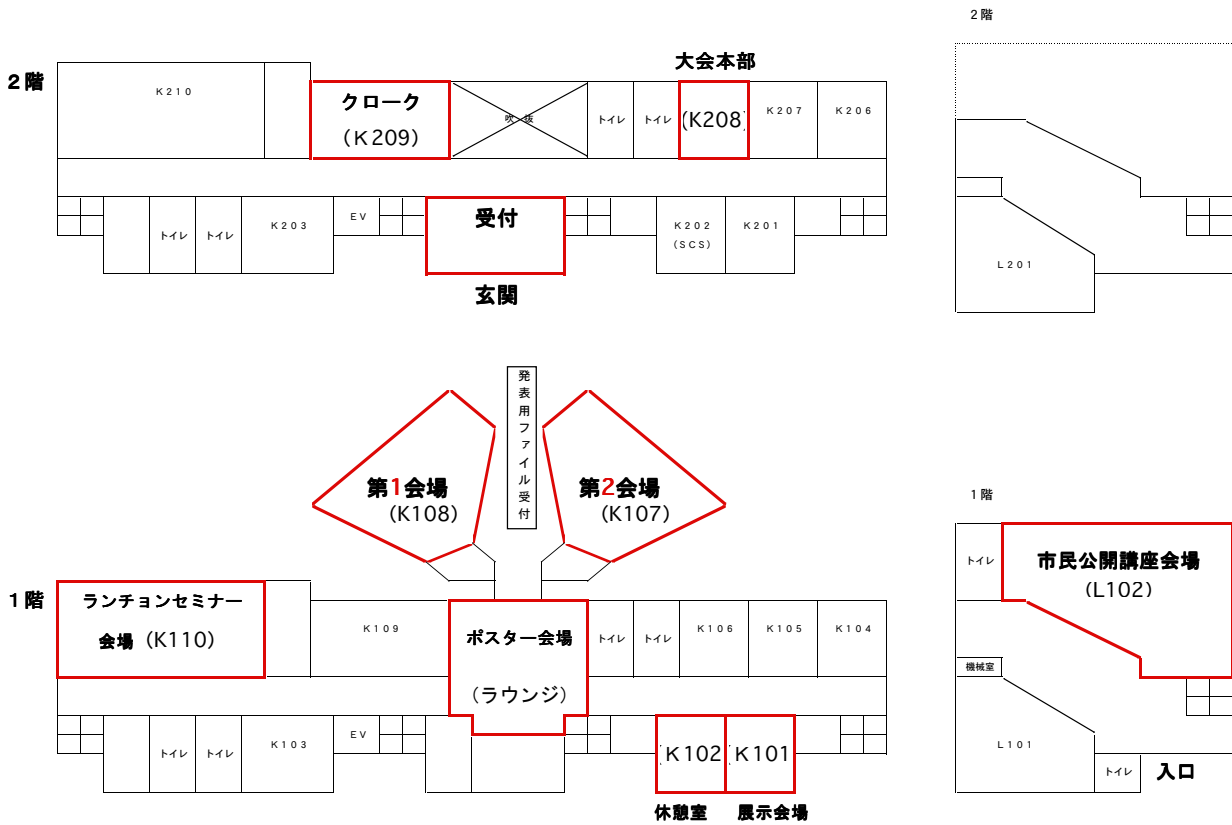


総合科学部 (大会会場)

生物生産学部 (各種委員会会場)

- JR西条駅から広島大学行きバスで
広大西口バス停下車 (約20分)
- JR西条駅から広島大学行きバスで
大学会館前バス停下車 (約20分)
- 自家用車は、第3ゲートより入場し、左手の駐車場へ (ゲートは5:00~21:00まで開放されています)
- 自家用車は、第5ゲートより入場し、駐車場へ (ゲートは5:00~21:00まで開放されています)
- 食堂 (大学会館) は、16, 17日の両日は営業しています (営業時間: 10:30~19:30) が、18日は営業していません。なお、17, 18日の昼食時にはランチオンセミナーが開催されます。

大会会場案内（総合科学部講義棟）



第1会場 (K108) 優秀発表賞（口頭発表）二次審査，一般口頭発表，日韓合同シンポジウム，特別講演，総会，受賞者講演

第2会場 (K107) 一般口頭発表

ラウンジ 優秀発表賞（ポスター発表）二次審査，若手企画シンポジウム，一般ポスター発表

K110 ランチョンセミナー

K101 展示会場

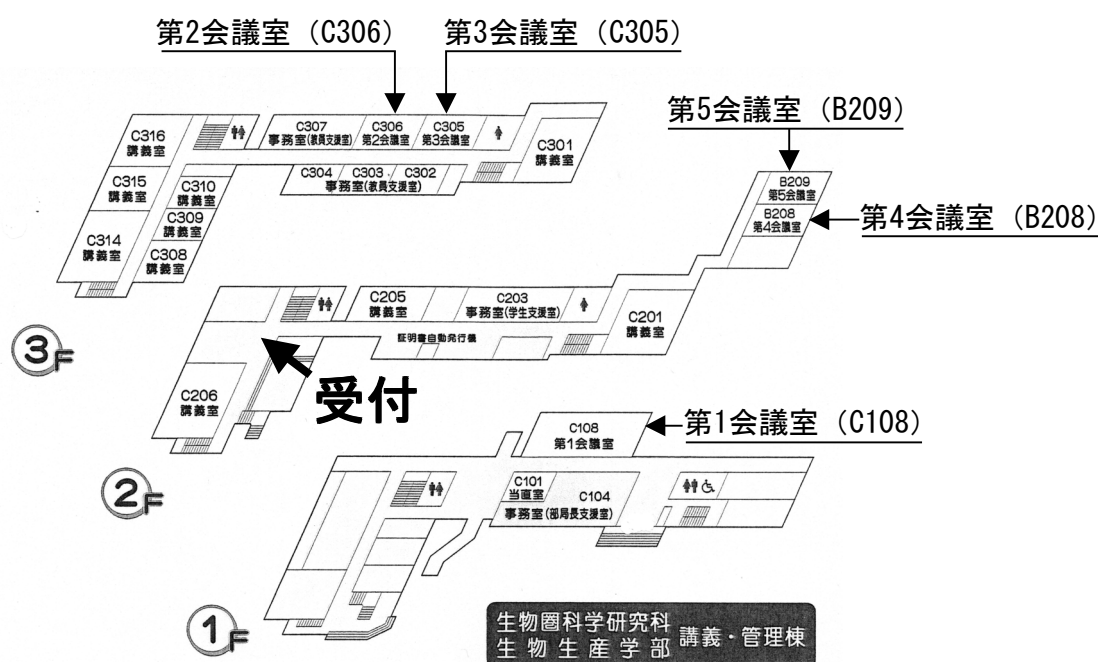
K102 休憩室

L102 市民公開講座

各種委員会開催案内（生物生産学部会議室）

各種委員会出席者の皆様へのお願い

大会初日（9月16日）の朝，受付の混雑が予想されますので，委員会出席時に2階ロビーの受付（14時30分～）にて，大会受付をお済ませください。



使用会議室	委員会名	開催時間
第1	編集委員会	16:00～17:00
第1	評議員会	18:00～19:00
第2	広報委員会	15:00～16:00
第3	表彰選考委員会	15:00～16:00
第4	学術集会等検討委員会	15:00～16:00
第5	若手奨励策検討委員会	15:00～16:00
第5	理事会	17:00～18:00

第 97 回日本繁殖生物学会

優秀発表賞・一般講演 プログラム

本大会では液晶プロジェクターによる口頭発表と、ポスター発表を行います。

1) 口頭発表

- (1) 講演時間は、発表 10 分、討論 5 分、計 15 分です。演者は時間厳守をお願いします。
- (2) 講演会場には、液晶プロジェクターと OHP（不測の事態用）を各 1 台準備します。
- (3) 演者の方は、遅くとも発表の **60 分前までに（早い受付は大歓迎）** 口頭発表会場入口の発表受付でファイルをパソコンに移す作業を行ってください。朝 9 時からのセッションの方は、**必ず前日夕方までに** 受付を行ってください。
- (4) 演者は前演者の登壇とともに次演者席にお着きください。
- (5) 座長の方は、発表の 30 分前までに各会場入口の発表受付で来場の確認を行い、担当時間の 10 分前までに次座長席にお着きください。

2) ポスター発表

- (1) ポスターのサイズは、横 90cm、縦 180cm です。
- (2) 演者は 9 月 17 日（金）の 8:30～16:00（できれば午前中をお願いします）の間に、ラウンジに設置してあるボードにポスターを貼ってください。
- (3) ポスターは各自で用意した画びょうまたはピン（事務局では準備しません）で固定してください。
- (4) 演者は発表時間である 9 月 18 日（土）の 11:00～12:00 の 60 分間は各自のポスターの前で対応してください。
- (5) ポスターは 9 月 18 日（土）の夕方 17:00 までに撤去してください。

優秀発表賞二次審査（口頭発表部）

第1日目 9月16日（木）9：00～11：00

演題番号 1-8

第1会場（K108）

座長：代田真理子（食品安全センター），山内啓太郎（東大院農生命）

- 1 雌ラットにおけるケトン体によるパルス状 LH 分泌抑制に関与する神経経路の同定
○須崎直樹，木下美香，東村博子，前多敬一郎（名古屋大院生命農学）

座長：岡村裕昭（農業生物資源研），前多敬一郎（名古屋大院農）

- 2 シバヤギにおける成長ホルモンパルスの性周期変動とその意義
○米澤智洋，山内啓太郎，西原眞杉（東大院獣医生理）

座長：奥田 潔（岡山大農），汾陽光盛（北里大獣医）

- 3 ブタ卵胞の顆粒層細胞における抗アポトーシス因子（cFLIP）の発現解析
○松田-峯畑二子，後藤康文¹，井上直子²，眞鍋昇¹（東大院農学生命科学，¹京大院農学，²名古屋大院生命農学）

座長：内藤邦彦（東大院農生命），山田雅保（京大院農）

- 4 マウス卵母細胞での相同染色体の分離における Rec8 の染色体腕部からの消失の制御と必要性
○李智博，岡田幸之助，宮野隆，三宅正史，山下正兼¹（神戸大自然科学，¹北大生物）

座長：鈴木宏志（帯畜大原虫研センター），若山照彦（理研神戸）

- 5 ラット卵子の顕微注入体細胞核の早期染色体凝集誘起には高い p34^{cdc2} kinase 活性が必要である
○伊藤潤哉¹，武内 歩²，伊藤真由美²，加藤めぐみ^{1,3}，島田昌之⁴，保地眞一²，平林真澄^{1,5}（¹自然科学研究機構生理研，²信州大繊維，³CREST，⁴広島大院生物圏科学，⁵総研大）

座長：加藤容子（近大農），佐々田比呂志（東北大院農）

- 6 生殖細胞を完全に欠損したミュータントマウスからの子孫の作出
○若山清香^{1,2}，岸上哲士¹，Ngyuan Van Thuan¹，大田浩¹，引地貴亮¹，水谷英二^{1,3}，三宅正史²，若山照彦¹（¹理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター，²神戸大学大学院自然科学研究

科, ³東北大学大学院)

座長：永井卓（畜草研），長嶋比呂志（明治大農）

- 7 マウスインプリント遺伝子 *Gtl2-Dlk1* の父母アレル特異的メチル化解析
○小見山純一¹, 樋浦 仁¹, 小川英彦^{1,2}, 尾畑やよい^{1,2}, 河野友宏^{1,2} (¹東京農大・バイオ, ²BRAIN)

座長：富永敬一郎（兵庫農総センター），保地眞一（信州大繊維）

- 8 ガラス化保存したウシ未成熟卵母細胞の IVMFC 胚移植による妊娠例
○阿部靖之, 原健士朗, 小林仁¹, 松本浩道, 佐々田比呂志, 佐藤英明 (東北大院農, ¹宮農短大)

優秀発表賞二次審査（ポスター発表）

第1日目 9月16日（木） 11:30～12:30

演題番号 9-12

ポスター会場（ラウンジ）

司会者：宮本明夫（帯畜大）

座長：宮本明夫（帯畜大）

- 9 ウシ培養黄体細胞のオキシトシン (OT) 分泌能に関する研究
○柴谷雅美, Deptula M. Katarzyna¹, Korzekwa Anna¹, Skarzynski J. Dariusz¹, 奥田 潔（岡山大学院自然科研, ¹ポーランド科学アカデミー）

座長：真鍋 昇（東大高等動物教育研究センター）

- 10 Effect of hyaluronan on apoptosis of granulosa cells in porcine COCG culture
○Woro Anindito Sri Tunjung, Takako Nagahara, Masaki Yokoo, Hiromichi Matsumoto, Hiroshi Sasada, Eimei Sato（Laboratory of Animal Reproduction, Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University）

座長：服部真彰（九大院農）

- 11 血管内皮細胞と黄体化顆粒層細胞のクロストークが $PGF_{2\alpha}$ による NO 産生を引き起こす: ウシ黄体退行開始における NO の役割
○山本 大, 林 美里, 白砂孔明, 松井基純, 宮本明夫（帯畜大）

座長：宮野 隆（神戸大農）

- 12 ラット精巣上体精子凍結保存における 5°C への冷却速度の検討
○清田弥寿成, 奥田泰士, 滝澤明子, 平原尚人, 紫野正雄, 猪股智夫¹, 柏崎直巳（麻布大学 獣医 動物繁殖, ¹実験動物）

一般口頭発表

第1会場 (K108)

第1日目9月16日(木)

13:30~15:30 演題番号 13-20

(初期胚発生)

座長：建本英樹(琉球大農)、山田雅保(京大院農)

- 13 酸化ストレス感受期の体外培養ウシ胚における DNA 損傷およびその修復状態の変化
○高橋昌志, 小林修一, 小林修司, 阪谷美樹 (九州沖縄農研)
- 14 暑熱ストレスによるウシ初期胚内の酸化還元状態変化に及ぼす紫カンショ由来アントシアニンの効果
○阪谷美樹, 須田郁夫, 沖 智之, 小林修一, 小林修司, 高橋昌志 ((独)九州沖縄農研)
- 15 体外発生培地へのグルタミン及びハイポタウリンがブタ胚の酸化ストレスに及ぼす影響
○鈴木千恵, 吉岡耕治 (動衛研)

(初期胚遺伝子発現1)

座長：内藤邦彦(東大院農生命)、南 直治郎(京大院農)

- 16 マウス初期胚における時計遺伝子群の発現解析
○松下聡紀¹, 天野朋子¹, 松本和也^{1,2}, 安齋政幸², 三谷匡², 加藤博己², 細井美彦^{1,2}, 佐伯和弘^{1,2}, 入谷明^{1,2} (¹近大生物理工, ²近大先端技総研)
- 17 マウス初期胚で発現する rhophilin-2 遺伝子と相互作用する因子の探索
○松岡俊樹¹, 松本和也^{1,2}, 天野朋子¹, 安齋政幸², 三谷匡², 加藤博己², 細井美彦^{1,2}, 佐伯和弘^{1,2}, 入谷明^{1,2} (¹近大生物理工, ²近大先端技総研)
- 18 マウス着床前胚における転写因子 NF- κ B の核内局在パターンと発生調節への関与
○文岩陽子, 今井裕, 山田雅保 (京大院農)

(初期胚遺伝子発現2)

座長：小倉淳郎(理研 BRC)、加藤容子(近大農)

- 19 マウス初期胚の胚性遺伝子発現機構における DNA メチル化及びヒストンアセチル化の関与
○山本由美¹, 松本和也^{1,2}, 天野朋子¹, 栗原隆¹, 安齋政幸², 三谷匡², 加藤博己², 細井美彦^{1,2}, 佐伯和弘^{1,2}, 入谷明^{1,2} (¹近大生物理工, ²近大先端技総研)
- 20 生殖細胞形成過程におけるインプリントの確立機構

○尾畑やよい^{1,2}, 河野友宏^{1,2} (¹東京農大バイオ, ²生研機構)

第2日目9月17日(金)

9:00~10:30 演題番号 21-26

(卵子減数分裂)

座長: 宮野 隆 (神戸大農), 永井 卓 (畜草研)

- 21 ブタ卵の成熟開始に対する RINGO の影響
○久米佐知, 黒田貴雄, 内藤邦彦, 東條英昭 (東大院農生命・応用遺伝)
- 22 減数分裂時のブタ卵子における ERKs 活性による細胞障害抑制効果
○建本秀樹, 砂川育子, 武藤徳男¹, 新城明久, 仲田正 (琉大農, ¹広島県大生物資源)
- 23 Nitric Oxide の卵成熟抑制効果に関する検討
○山縣芳明, 竹谷俊明, 坂田亜希, 田村博史, 杉野法広 (山口大学医学部, 分子制御系・産科婦人科学講座)

(卵子細胞質成熟)

座長: 舟橋弘晃 (岡山大農), 吉田光敏 (鹿児島大農)

- 24 FSH の前処理と OPU との反復で採取されたウシ卵母細胞の数と形態別にみた胚盤胞への発生能
○桃沢健二, 福田芳詔 (北里大獣医畜産)
- 25 単一基礎培地による豚胚の体外生産
○吉岡耕治, 鈴木千恵 (動衛研)
- 26 体外成熟培養におけるウシ卵母細胞の細胞質成熟に及ぼすカルニチンの効果
○大坪大輔, 山田多恵, 今井裕, 山田雅保 (京大院農)

第2日目9月17日(金)

11:00~12:30 演題番号 27-32

(核移植1)

座長: 河野友宏 (東農大バイオ), 若山照彦 (理研神戸)

- 27 始原生殖細胞 (PGC) を用いた核移植による産仔の作出
○三木洋美^{1,4}, 井上貴美子¹, 幸田尚², 本多新¹, 越後貫成美¹, 三瀬名丹¹, 松居靖久³, 馬場忠⁴, 阿部訓也¹, 石野史敏⁵, 小倉淳郎¹ (¹理研 BRC, ²東工大, ³大阪母子センター, ⁴筑波大, ⁵東京医歯大)
- 28 初期 G1 期のウシ初代繊維芽細胞における遺伝子発現および核の活性状態と核移植後の発生の検

討

○笠松 礼, 佐伯和弘¹, 玉里友宏, 三谷 匡¹, 細井美彦¹, 松本和也¹, 谷口俊仁², 出田篤司³, 浦川真実³, 青柳敬人³, 入谷 明¹ (近大生物理工,¹ 近大先技総研,² 和歌山県畜試,³ 全農 ET センター)

29 Cryopreservation of bovine somatic cell nuclear-transferred blastocysts: Effect of developmental stage

○D. Amarnath, Y. Kato and Y. Tsunoda (Laboratory of Animal Reproduction, College of Agriculture, Kinki University)

(核移植 2)

座長：今井 裕 (京大院農), 松本和也 (近大先技総研)

30 ブタ前駆脂肪細胞の核移植によるクローン産仔の作出

○富井亮, 黒目麻由子, 上田英登, 上野智, 比留間克己, 加野浩一郎¹, 長嶋比呂志 (明大農,¹ 日本大生物資源)

31 α 1,3 ガラクトース転位酵素遺伝子ノックアウトブタの作製

○藤村達也, 高萩陽一, 長嶋比呂志², 宮川周士¹, 重久保, 村上博 ((株) 日本動物工学研究所,¹ 大阪大学医学部臓器置換研究室,² 明治大学農学部発生工学研究室)

32 ミニブタ体細胞クローン胚の作製に用いる融合および活性化培地中のカルシウム濃度の最適化

○遊木靖人, 三好和睦, 吉田光敏 (鹿大院農)

第3日目 9月18日 (土)

9:00~10:30 演題番号 33-38

(卵子活性化)

座長：平尾雄二 (東北農研), 三宅正史 (神戸大院自然)

33 超音波を用いたブタ卵子の活性化

○佐藤啓介, 三好和睦, 吉田光敏 (鹿大院農)

34 Ca-EDTA による M1 期および M2 期ブタ卵母細胞の単為発生的活性化に関する研究

○川瀬裕己, 星野洋一郎, 今井裕, 山田雅保 (京大院農)

(精巢生理)

座長：野口純子 (農業生物資源研), 渡辺元 (東京農工大農)

35 性腺形成不全症 (*hgn/hgn*) ラットの胎生期病態発生に関する調査

○八木美央, 鈴木浩悦, 岡田美香, 斉藤賢一, 鈴木勝士 (日本獣医畜産大学・獣医生理学教室)

36 性腺形成不全症 (*hgn/hgn*) ラットの生後初期精巢における病態発生の調査

- 鈴木浩悦, 八木美央, 斉藤賢一, 鈴木勝士 (日本獣医畜産大学, 獣医生理学教室)
- 37 てんかんを伴う致死性の矮小症ラットの精巣と内分泌学的異常に関する調査
- 竹中基郎, 鈴木浩悦, 斉藤賢一, 鈴木勝士 (日本獣医畜産大学, 獣医生理学教室)
- 38 マストミス雌性前立腺の内分泌支配における性腺と副腎の役割
- 向井一真, 太田昭彦 (明大農)

第3日目9月18日(土)

13:00~14:30 演題番号 39-44

(精子形成)

座長: 鈴木浩悦(日獣畜大), 原山 洋(神戸大院自然)

- 39 未成熟マウスにおける雄性生殖細胞の分化と精子形成周波
- 杉本 亮, 多胡善幸, 大島浩二, 辻井弘忠, 濱野光市 (信州大農)
- 40 未成熟マウスにおける雄性生殖細胞の増殖と分化に関する遺伝子発現
- 多胡善幸, 杉本 亮, 菱川大介, 盧 尚建, 佐々木晋一, 濱野光市 (信州大農)
- 41 男性不妊症発症メカニズムにおけるビタミンCの関与
- 矢間 太, 古田和子, 園田智子¹, 堀内俊孝, 山田 學 (広島県立大学生物資源学部,¹横浜市立大学医学部)
- 42 ブタ精巣の発達に伴うリラキシンおよびその関連タンパクと受容体分子の発現動態
- 加藤真一, 森澤太平, 高坂哲也, 河原崎達雄¹, 友金弘², 番場公雄 (静大農,¹静岡中小試,²日獣畜大)

(精子1)

座長: 高坂哲也(静岡大農), 濱野光市(信州大農)

- 43 キャパシテーション過程のブタ精子におけるPKA基質タンパク質のリン酸化
- 黒田 顕, 原山 洋 (神戸大院自然)
- 44 Flow-FISH法を用いたウシ精子DNAのテロメア長検出技術の開発
- 渡邊弘樹, 窪田 力¹, 三好和睦, 吉田光敏 (鹿大農,¹鹿児島県肉改研)

第3日目9月18日(土)

15:00~16:30 演題番号 45-50

(配偶子保存1)

座長: 楠 比呂志(神戸大食資源教育研究センター), 長尾慶和(宇都宮大農場)

- 45 マウスの生殖工学技術マニュアル作製と配布
○土山修治, 中潟直巳 (熊大・CARD・資源開発分野)
- 46 C57BL/6 系統を含む様々なマウス系統に適応可能な, 受精効率に優れる新規マウス精子凍結保存液の開発
○西園啓文^{1,3}, 竹尾透², 中村香里^{1,3}, 入江徹美², 斉田勝¹, 中潟直己³ (¹九動株式会社, ²熊大大学院医学薬学研究部, ³熊大CARD)
- 47 凍結乾燥マウス精子の長期保存の可能性
○川瀬洋介, 荒谷弘¹, 鎌田宣夫, 寺社下浩一, 鈴木宏志^{2,3} (中外医科学研・薬理病態,¹中外製薬・製薬技術,²帯畜大・原虫・ゲノム機能,³東大院医・発生・医療工学)

(配偶子保存2)

座長：鈴木宏志（帯畜大原虫研センター）、高木優二（信州大農）

- 48 マウス胎生期雄性生殖巣の異所移植法による配偶子形成の誘導とその子孫の作出の試み
○大田浩, 若山照彦 (理研神戸)
- 49 ニジマス精巣細胞移植によるドナー由来次世代個体の作出および精巣内生殖系幹細胞の機能解析
○奥津智之¹, 吉崎悟朗^{1,2} (¹東京海洋大学, ²さきがけ研究21)
- 50 始原生殖細胞の凍結保存による新たな魚類遺伝子資源保存技術の開発
○小林輝正¹, 吉崎悟朗^{1,2}, 竹内俊郎¹ (¹東京海洋大学, ²さきがけ研究21)

一般口頭発表

第2会場 (K107)

第1日目9月16日(木)

13:30~15:30 演題番号 51-58

(黄体)

座長：奥田 潔 (岡山大農), 服部真彰 (九大院農)

- 51 VEGF 抗体投与によるウシ黄体形成抑制効果の解析
○鎌田大地, 松井基純, 柴沼 巧, 山本 大, D. Schams¹, 宮本明夫 (帯畜大, ¹ミュンヘン工科大)
- 52 妊娠ラットにおける黄体内の血管成熟の変化と Angiopoietin-Tie2 系の関与
○坂田亜希, 竹谷俊明, 山縣芳明, 田村博史, 杉野法広 (山口大学医学部産婦人科)
- 53 ウシの自発的な黄体退行に先立つ黄体周辺部血流域の増加と黄体内部の血管作動性物質関連の mRNA 発現
○白砂孔明, Missaka P. B. Wijayagunawardane, 渡辺 翔, 山本 大, 松井基純, 宮本明夫 (帯畜大)
- 54 黄体退行時における黄体の phospholipase A₂ 活性並びに prostaglandin F_{2α} 産生能の持続的増強は, 形態的退行の促進に寄与している
○久留主志朗, 坂口真也, 汾陽光盛, 橋本禱 (北里大獣医生理)

(卵胞)

座長：大澤健司 (岩手大農), 川手憲俊 (大阪府大農)

- 55 乳牛の黄体期における GnRH 投与後の卵巣およびプロゲステロン濃度の変化と, その後の PGF_{2α}, hCG 投与による黄体退行, 排卵誘起
○佐藤太郎, 中田 健¹, 内山保彦, 藤原信子, 佐藤義政, 梅田雅夫, 古川武士 (新潟農総研・畜研, ¹酪農大・獣医)
- 56 黄体不在下では2個の優勢卵胞が選抜される: プロゲステロンによるウシ卵胞選抜の制御
○林 憲悟, 松井基純, Tomas J. Acosta¹, Barana C. Jayawardana, 佐藤綾子, 大谷昌之, 宮本明夫 (帯畜大, ¹現・岡山大・院自然科学)
- 57 Re-immunization of heifers against inhibin: Effects on follicular population, ovulation rate and hormonal profile
○M.S. Medan, S. Akagi¹, H. Kaneko², G. Watanabe¹, C.G. Tsonis³ and K. Taya (Tokyo University of Agriculture and Technology, ¹National Institute of Livestock and Grassland Science, ²National Institute of

Agrobiological Resources, ³Biotech Australia)

- 58 乳用牛における分娩後の卵胞発育ウェーブの発現時期と分娩前後のFSH分泌動態
○笹本良彦¹, 坂口実², 片桐成二, 中田健³, 高橋芳幸 (北大院獣医, ¹現留萌地区 NOSAI, ²北海道農研, ³酪農大獣医)

第2日目9月17日(金)

9:00~10:30 演題番号 59-64

(卵胞2)

座長: 津曲茂久(日大獣医), 山田恭嗣(NOSAI 標津)

- 59 跛行および搾乳が発情牛の血漿中コルチゾール濃度に及ぼす影響
○吉田智佳子, 中尾敏彦¹ (広島大学大学院国際協力研究科, ¹山口大学農学部獣医学科)
- 60 Occurrence of estrous detection error, luteal dysfunction, follicular cysts, and inactive ovaries in cross-bred dairy cows in Vietnam
P.V. Kiem, T.X. Luu, T.Q. Phong, ○N.Q.Q. Hoa, N. Isobe¹ and T. Nakao² (National Institute of Animal Husbandry, Hanoi, Vietnam, ¹Hiroshima University IDEC, Higashi-Hiroshima, Japan, ²Yamaguchi University Faculty of Agriculture, Yamaguchi, Japan)
- 61 CIDR 処理に併用する高用量エストロジェン製剤が乳用牛の卵胞発育動態に及ぼす影響
○奥村嘉子, 片桐成二, 永野昌志, 高橋芳幸 (北大院獣医)

(栄養と繁殖)

座長: 田中知己(東京農工大農), 宮本明夫(帯畜大)

- 62 乳牛の乾乳バーン移動に伴う飼養環境変化が生体に及ぼす影響と分娩後の繁殖障害発生との関係
○中田 健, 石川行一, 松本洋子, 山本武広, 森好政晴, 澤向 豊 (酪農大獣医)
- 63 乳牛の周産期モニタリングスコアと血液生化学性状ならびに繁殖成績との関係
○大滝忠利, 草刈直仁, 二階堂聡¹, 遠谷良樹¹ (北海道立根釧農試, ¹現北海道立畜試)
- 64 Postpartum Ovarian Cycles, Reproductive Performance and Some Factors Affecting Ovarian Cycles in High-Producing Dairy Cows
○Kalpana Subedi, Toshihiko Nakao¹ and Hirokazu Kubota² (Animal Histophysiology Lab, Faculty of Biological Science, Hiroshima University, ¹Lab. of Theriogenology, Dept. of Veterinary Medicine, Yamaguchi University, ²Hiroshima University Experimental Farm)

第2日目9月17日(金)

11:00~12:30 演題番号 65-70

(臨床・応用技術)

座長：加茂前秀夫（東京農工大農），中田 健（酪農大獣医）

- 65 三次元内部構造顕微鏡装置（3D-ISM）を用いたウマ卵巢の観察_卵巢内構造物の三次元化および空間的位置関係の検索_
- 平野悠子^{1,7}，木村順平²，猪飼志保²，石名坂豪²，津曲茂久²，横田秀夫³，中村佐紀子³，姫野龍太郎³，竹本智子^{3,4}，三島健稔⁴，本多英晴^{3,5}，大竹政光⁵，南保泰雄⁶，松井基純⁷，三宅陽一⁷（¹岐阜連合獣医，²日大獣医，³理研，⁴埼玉大院理工学研究科，⁵明治大院理工学研究科，⁶JRA日高，⁷帯畜大臨繁）
- 66 牛の子宮内腔に留置したデータ蓄積型マイクロセンサーによる子宮内温度の測定
- 倉瀧英人，Noris Roa，安藤貴朗，上村俊一，浜名克己，守田和夫¹（鹿大獣医，¹鹿大生物環境）

(精子2)

座長：田谷一善（東京農工大農），菱沼 貢（鳥取大農）

- 67 馬の精巢上体内における円形細胞数の変化
- 菊池元宏，田島雷太，山田直樹・大岩佳子，久保田美穂，植松春樹，佐藤知美，小池正充，三浦弘，大浪洋二（北里大・獣医繁殖）
- 68 サラブレッド種雄馬の繁殖シーズンにおけるテストステロン濃度と精子形態および精液性状の変化との関係
- 古家後雅典，北尾壮吉，角田修男¹，中田 健，森好政晴，澤向 豊（酪農大獣医，¹社台コーポレーション）

(内分泌攪乱物質)

座長：杉本美紀（京大院農），新村末雄（新潟大農）

- 69 ビスフェノール A がマウス胎仔器官形成期における AhR および生体異物代謝酵素系におよぼす影響
- 西澤華子，今西哲，眞鍋昇（京大院農生体機構学）
- 70 性腺刺激ホルモンによる誘起排卵に対する PCB126 の影響
- 櫻田陽右，代田眞理子¹，笠井豊，澤井政善，代田欣二（麻布大生物研，¹(財)食品薬品安全センター秦野研究所）

第3日目9月18日（土）

9：00～10：30 演題番号 71-76

(卵胞－遺伝子発現)

座長：真鍋 昇（東大高等動物教育研究センター），宮崎 均（筑波大実験動物センター）

- 71 ウシ卵胞における糖輸送担体(GLUT)の発現
○西本博美, 松谷亮介, 高橋強, 林憲悟, 宮本明夫, 山本沙和¹, 浜野晴三¹, 手塚雅文 (帯畜大, ¹家畜改良事業団バイオテクセンター)
- 72 ブタ顆粒層細胞における MDR1 遺伝子のホルモンによる発現調節
○福田裕明, 荒井 学, 宗 知紀¹, 山内伸彦¹, 服部真彰¹ (九州大院生資環, ¹九州大院農)

(胎盤)

座長：今川和彦（東大院農生命），橋爪一善（岩手大農）

- 73 ウシ子宮内膜の prostaglandin 合成機能における糖質コルチコイドの生理的意義
○李和容, Acosta Tomas, 手塚雅文¹, 奥田潔 (岡山大院自然科研, ¹帯畜大)
- 74 ラット子宮内膜由来細胞の分離と特性
○蒲生徹, 西村享平, 小島リンコン幹児, 宗知紀¹, 山内伸彦¹, 服部真彰¹ (九州大院生資環, ¹九州大院農)
- 75 ウシの妊娠子宮内膜における Mx1, Mx2 遺伝子の発現解析
○小島孝敏, 大島一修, 渡辺裕子¹, 福島護之², 小松正憲³, 山本直幸 (近中四農研, ¹生研機構, ²兵庫農技総セ・北部, ³畜草研)
- 76 Plasma estrone sulphate (E₁S) and estradiol -17_β (E₂_β) profiles during pregnancy and their relationship with calf birth weight, placental weight, and twin birth in Holstein-Friesian cattle
○Shah KD, Nakao T¹ and Kubota H (Department of Bioresource Science and Technology, Graduate School of Biosphere Science, Hiroshima University, ¹Department of Veterinary Medicine, Faculty of Agriculture, Yamaguchi University)

第3日目9月18日(土)

13:00～14:30 演題番号 77-82

(配偶子保存3)

座長：富永敬一郎（兵庫農総センター），保地真一（信州大繊維）

- 77 ブタ体外生産(IVP)胚のガラス化保存後の生存性
○比留間克己, 上田英登, 黒目麻由子, 富井亮, 上野智, 長嶋比呂志 (明治大・農)
- 78 ウサギ初期胚の緩慢凍結法と最少容量ガラス化法による超低温保存
○奥田泰士, 清田弥寿成, 猪股智夫¹, 紫野正雄, 柏崎直巳 (麻布大学 獣医学部 動物繁殖学)

研究室, ¹実験動物学研究室)

- 79 マウス初期胚におけるコンパクションと膜透過性
○桑野竜永, 那須恵, 枝重圭祐, 葛西孫三郎 (高知大農)

(脳生理)

座長：加藤幸雄 (明治大農), 西原真杉 (東大院農生命)

- 80 ラットにおける甘味嗜好性の性差に関する研究
○榊原基嗣, 前多敬一郎, 東村博子 (名大院生命農)
- 81 シバヤギにおいてケトン体の中枢投与は GnRH パルスジェネレーター活動を抑制する
○松山秀一 ^{1,2}, 大蔵 聡 ¹, 東村博子 ², 前多敬一郎 ², 岡村裕昭 ¹ (¹農業生物資源研 神経内分泌, ²名大院 生命農学)
- 82 FSH β 鎖プロモーターを融合した HSV-TK 遺伝子を導入したトランスジェニックラットの作出
○相川優子, 伊藤和美 ¹, 加藤たか子, 前多敬一郎 ², 東村博子 ², 太田昭彦, 加藤幸雄 (明治大・農, ¹YS 研, ²名大院・生命農)

第3日目 9月18日 (土)

15:00~16:30 演題番号 83-88

(遺伝子関係)

座長：佐々田比呂志 (東北大院農), 山内啓太郎 (東大院農生命)

- 83 マウス輸卵管上皮細胞への効率的遺伝子導入系の開発
○佐藤正宏 (東海大学総合医学研究所)
- 84 生殖腺特異的発現遺伝子 *gse* と相互作用を示す候補タンパク質の同定
○水野里志 ^{1,2}, 松岡俊樹 ¹, 松本和也 ¹, 佐伯和弘 ¹, 細井美彦 ¹, 福田愛作 ², 森本義晴 ³, 入谷 明 ¹ (¹近畿大学大学院生物理工学研究科, ²IVF 大阪クリニック, ³IVF なんばクリニック)
- 85 ニワトリ胚性腺における MDR1 遺伝子の発現変動と発現細胞
○山田佳菜穂, 奥野慎一郎, 荒牧伸弥, 宗 知紀 ¹, 山内伸彦 ¹, 服部眞彰 ¹ (九大院生資環, ¹九州大院農)

(生殖工学)

座長：細井美彦 (近大先技総研), 長嶋比呂志 (明治大農)

- 86 ブタ顆粒層細胞における RNAi 有効性の検討
○平野拓郎, 山内伸彦 ¹, 佐藤文則, 宗 知紀 ¹, 服部眞彰 ¹ (九州大院生資環, ¹九州大院農)
- 87 植物由来脂肪酸不飽和化酵素を発現させたトランスジェニックマウスにおける遺伝子挿入部位の

解析

○新海雄介^{1,2}, 湯浅一之¹, 桐本真治¹, 松本和也^{1,2}, 天野朋子¹, 安斎政幸², 三谷匡², 加藤博己², 田口善智¹, 細井美彦^{1,2}, 佐伯和弘^{1,2}, 入谷 明^{1,2} (1近大生物理工, 2近大先端技総研)

88

サルES細胞由来造血系キメラヒツジにおけるサル造血系細胞の多系統性と長期生着の解析

○長谷川秀昭^{1,2,*}, 佐々木京子², 柴田宏昭², 北野良博³, 林聡³, 小澤敬也², 花園豊², 長尾慶和¹ (1宇都宮大農, 2自治医大分子病態治療研究センター, 3国立成育医療センター, *現所属: コスモ・バイオ(株))

一般ポスター発

ポスター会場（ラウンジ）

第3日目9月18日（土）

11:00～12:00

演題番号 89-161

（生殖工学）

- 89 唾液腺由来幹細胞をドナー細胞とするブタ体細胞核移植
○黒目麻由子, 上田英登, 富井亮, 上野智, 比留間克己, 中村公俊¹, 奥村健治¹, 松本志郎¹, 松本光史², 梶雄次², 遠藤文夫¹, 長嶋比呂志 (明大農,¹熊大院医,²九沖農研センター)
- 90 マウス ES 細胞由来血管前駆細胞および血管内皮細胞の核移植
○天野朋和¹, 片岡恵一郎², 高橋幸子², 鈴木宏志^{1,3}, 栗原裕基² (¹東大院医発生医療工学,²東大院医代謝生理化学,³帯広畜産大原虫病センター)
- 91 マウス体細胞クローン胚に観察される初期胎盤形成不全について
○井上貴美子, 越後貫成美, 三木洋美, 本多新, 持田慶司, 信賀 順¹, 古関明彦¹, 小倉淳郎 (理化学研究所 バイオリソースセンター,¹理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター)
- 92 Histone acetylation of somatic chromatin in cloned bovine embryos
○Gabbine Wee, Deog-Bon Koo, Man-Jong Kang¹, Seung Ju Moon¹, Kyung-Kwang Lee and Yong-Mahn Han (Laboratory of Development and Differentiation, Korea Research Institute of Bioscience and Biotechnology, ¹Daejeon, Korea, Department of Animal Science, Chonnam National University, Gwangju, Korea)
- 93 Analysis of pluripotent-related gene expression in different clone mouse preimplantation embryos
○Li XiangPing, Yukio Tsunoda, Yoko Kato (Laboratory of Animal Reproduction, College of Agriculture, Kinki University)
- 94 ウシ体細胞核移植胚の発生にともなう IGF 関連遺伝子の発現動態
○澤井 健, 陰山聡一, 森安 悟, 平山博樹, 南橋 昭, 尾上貞雄 (北海道立畜産試験場)
- 95 ウシ体細胞核移植における再構築胚の胚盤胞への発生日齢と正常性
○富永敬一郎, 岩木史之, 柴谷増博 (兵庫農総セ)
- 96 ブタ凍結乾燥精子を用いて作製した顕微授精(ICSI)胚の発生能
○中井美智子, 菊地和弘¹, 滝澤明子, 平原尚人, 小沢学¹, 野口純子¹, 金子浩之¹, 紫野正雄, 柏崎直己 (麻布大学,¹生物資源研)

- 97 ICSI と ROSI 後の雄性前核のメチル化状態の違いについて
○岸上哲士, Nguyen Van Thuan, 引地 貴亮, 大田 浩, 若山清香, 水谷 英二, 若山照彦 (理研 CDB)
- 98 マウス亜種間雑種を作出するための顕微授精技術の有効性の検討
○新免明恵^{1,2}, 大川美佳², 越後貫成美², 三木洋美², 広瀬美智子², 井上貴美子², 伊藤雅夫¹, 小倉淳郎² (¹東農大・生物産業, ²理研バイオリソースセンター)
- 99 円形精子細胞の分化段階と ROSI 効率との関係
○引地貴亮, 岸上哲士, Van Thuan Nguyen, 大田浩, 水谷英二¹, 若山清香², 若山照彦 (理研 CDB, ¹東北大院, ²神戸大院)
- 100 ラット A 型精原細胞とセルトリ細胞の共培養による円形精子細胞への分化誘導
○岩浪亮人, 小林俊寛, 加藤めぐみ¹, 平林真澄¹, 保地眞一 (信州大繊維, ¹岡崎生理研)
- 101 Alterations of histone H3 methylation, acetylation and phosphorylation at interphase chromatin and metaphase chromosome during the early development of mouse embryos
○Van Thuan Nguyen, Sayaka Wakayama, Satoshi Kishigami, and Teruhiko Wakayama (Center for Developmental Biology, RIKEN-Kobe, Japan)
- 102 Expression of genes related to primitive hematopoietic regulation in parthenotes
○Qiong Wu^{1,2}, Hidehiko Ogawa^{1,2}, Yayoi Obata^{1,2}, Tomohiro Kono^{1,2} (¹Department of BioScience, Tokyo University of Agriculture, ²Bio-oriented Technology Research Advancement Institution (BRAIN))
- 103 GFP を指標とした ES 細胞由来配偶子の選択的受精法の開発
○水谷英二, 大田浩¹, 岸上哲士¹, Nguyen Van Thuan¹, 引地貴亮¹, 若山清香², 佐藤英明, 若山照彦¹ (東北大学, ¹理研 CDB, ²神戸大学)
- 104 ES 細胞を用いた簡便な凝集キメラマウスの作製法
○海野あゆみ^{1,2}, 法喜ゆう子³, 中村美樹⁴, 荒木良子^{3,4}, 安倍真澄^{3,4}, 岡本正則² (¹サイエンス・サービス, ²放医研・実験動物, ³放医研・遺伝子発現, ⁴放医研・先端遺伝子発現センター)
- 105 MEK 阻害剤 PD98059 添加による無血清培地でのマウス ES 細胞株の効率的樹立
○竹中真奈美, 添田由香利, 野々脇章子, 拝郷浩佑, 堀内俊孝 (広島県立大学大学院生物生産システム研究科)
- 106 Retrovirus-mediated production of transgenic chickens expressing the *EGFP* gene
○Mo Sun Kwon, Bon Chul Koo¹, Nam-Hyung Kim¹, Iksoo Jeon², Wonkyong Chang² and Teoan Kim (Dept. of Physiology, Catholic Univ. of Daegu School of Medicine, Daegu, Korea, ¹Dept. of Animal Sciences, Chungbuk National University, Korea ²National Livestock Research Institute, RDA, Suwon, Korea)

(生殖細胞)

- 107 Development of primordial follicles in the ovaries of Fas-knockout and KIT-deficient mice

- Mohammad Moniruzzaman, Kazuhiro Sakamaki¹ and Takashi Miyano² (Graduate School of Science and Technology, Kobe University, ¹Graduate School of Biostudies, Kyoto University, ²Faculty of Agriculture, Kobe University)
- 108 卵母細胞特異的新規遺伝子 Oog-1 の機能に関する研究
○塚本智史, 南 直治郎, 今井 裕, 相澤 明¹ (京大院農, ¹家畜改良技術センター)
- 109 The correlation of chromosome morphology to the change in histone H3 phosphorylation at Ser10 and Ser28 in pig oocytes
○Hong-Thuy Bui, VanThuan Nguyen¹, Teruhiko Wakayama¹ and Takashi Miyano (Department of Life Science, Graduate School of Science and Technology, Kobe University, ¹Laboratory for Genomic Reprogramming, RIKEN-Center for Developmental Biology, Kobe)
- 110 ブタ卵の成熟条件が M II 期紡錘体の形態に及ぼす影響
○上野智, 黒目麻由子, 上田英登, 富井亮, 比留間克己, 長嶋比呂志 (明治大学農学部)
- 111 Effect of dibutyryl cAMP on in vitro development of pig eggs
○Ji-Su Kim, Deog-Bon Koo, Bong-Suk Song, Gabbine Wee, Young-Kug Choo¹, Kyung-Kwang Lee and Yong-Mahn Han (Laboratory of Development and Differentiation, Korea Research Institute of Bioscience and Biotechnology, Daejeon, Korea, ¹Department of Life Science, Wonkwang University, Iksan, Korea)
- 112 体外成熟させるブタ卵丘細胞-卵母細胞複合体の GSH および ATP 量に及ぼすシステアミンの影響
○續木靖浩, 松原真樹子, 芦澤幸二 (宮崎大学農学部)
- 113 マウス卵母細胞の囲卵腔の大きさと多精子侵入との関係
○北川時久, 新村末雄¹ (新潟大学大学院自然科学研究科, ¹新潟大学農学部)
- 114 ウシ屠体卵巢の長時間保存法の検討
○原田侑未子, 山口真理, 五十嵐茜, 大島裕貴, 長尾慶和 (宇都宮大学農学部附属農場)
- 115 ウシ卵子の成熟におけるステロイドホルモンの役割
○王 海峰, 寺田隆登 (広大院生物圏)
- 116 クロミンクジラの雄性生殖細胞がもつ卵子活性化能力の評価
○雨宮和絵, 福井豊¹, 石川創², 保地眞一 (信州大繊維, ¹帯畜大, ²日鯨研)
- 117 ミニブタ精子の卵子活性化因子(SF)抽出法の比較および SF を含む画分の検討
○松浦大創, 寺田隆登 (広大院生物圏)
- 118 マウス胚盤胞期胚の Apoptosis : 体外発生と体内発生と比較
○石 紅艶^{1,2}, 竹中真奈美², 野々脇章子², 拝郷浩佑², 堀内俊孝² (¹綿陽師範学院・中国, ²広島県立大学大学院生物生産システム研究科)

(凍結保存)

- 119 ブタ胚盤胞における水および耐凍剤の透過性の向上
○矢澤健一, 木村隼人¹, 三宅正史¹, 田中光信, 葛西孫三郎, 枝重圭佑 (高知大農,¹ 神戸大院自然科学)
- 120 Cryoloop 法によるハムスター未受精卵の凍結保存: 単為発生の抑制と ICSI による受精
○拝郷浩佑, 竹中真奈美, 野々脇章子, 矢間 太, 堀内俊孝 (広島県立大学大学院生物生産システム研究科)
- 121 メダカ胚の低温感受性
○Valdez Delgado Montes Jr, 宮本明, 原隆夫, 枝重圭祐, 葛西孫三郎 (高知大農)
- 122 細胞採取法が凍結保存後のウシ胚の生存性に及ぼす影響
○森安 悟, 澤井 健, 平山博樹, 陰山聡一, 尾上貞雄, 北野則泰, 堀川盟夫, 玉田 学, 南橋 昭 (北海道立畜産試験場)

(精子・精巣)

- 123 ブタ精子の非受容体型チロシンキナーゼ Syk における cAMP 依存的活性化
○原山 洋, 室賀真衣, 三宅正史 (神戸大院自然)
- 124 男性不妊症原因タンパク質の検索
○藤本美和, 園田智子¹, 堀内俊孝, 山田 學, 矢間 太 (広島県立大学生物資源学部,¹ 横浜市立大学医学部)
- 125 ブタ精細胞およびセルトリ細胞特異的モノクローナル抗体の作出
○團栗重輝人, 大谷光嗣, 土屋一穂, 保科和夫¹, 伊東正吾², 高木優二 (信州大農,¹ 長野県畜試,² 麻布大獣医)
- 126 マウス 14.5 日齢生殖隆起細胞の幼若マウス精巣への移植
○木村正紀, 帆刈優, 鳥居隆三¹, 高田達之¹, 高木優二 (信州大・農,¹ 滋賀医大・動物生命科学センター)
- 127 マウス雄性生殖器系の *in vivo* ¹H 磁気共鳴画像および ³¹P-核磁気共鳴スペクトルの観測と加齢による変化の検討
○杉本実紀, 森田真紀, 今西 哲, 西澤華子, 久米新一, 眞鍋 昇 (京大院農 生体機構)
- 128 犬摘出精巣の室温保存における組織学的変化および精巣精子の採取・分離
○先名雅実, 菱沼 貢, 関根純二郎 (鳥取大学農学部)
- 129 雄ラットの性成熟を制御するアンドロジェンの新規なフィードバック作用部位
○上野山賀久, 東村博子, 前多敬一郎 (名大院生命農)
- 130 ブタ個体発育にともなう精巣中インヒビン A および B の産生の変化
○大沼克彦^{1,2}, 金子浩之¹, 野口純子¹, 菊地和弘¹, 小沢学¹, 長谷川喜久³ (¹ 生物研,² 学振特別研究員,³ 北里大学)

- 131 Immunocytochemical analysis of gonadotropin-releasing hormone (GnRH) receptor and annexin 5 in the testis of rats

○Bing Yao and Mitsumori Kawaminami (北里大学獣医畜産学部獣医生理学研究室)

(内分泌)

- 132 ニワトリ胚由来筋芽細胞の増殖・分化における GDF-8 の機能に関する RNA 干渉法による検討

○佐藤文規, 宗 知紀¹, 山内伸彦¹, 服部眞彰¹ (九大院生資環, ¹九州大院農)

- 133 ニワトリ体節形成期の筋板における TGF- β 2 の発現推移

○荒牧伸弥, 佐藤文規, 宗 知紀¹, 山内伸彦¹, 服部眞彰¹ (九州大院生資環, ¹九州大院農)

- 134 ブタの性周期に伴う血中成長ホルモン, インスリン様成長因子-I 及びプロラクチンの変化

○野中寿美恵, 三上詩子, 橋爪 力, 須藤英紀¹, 今田哲雄¹ (岩手大農, ¹山形県豚試)

- 135 Possible involvement of vascular endothelial growth factor system in the regulation of bovine oviductal contraction

○Suranga P Kodithuwakku, Missaka P B Wijayagunawardena and Akio Miyamoto¹ (Department of Animal Science, Faculty of Agriculture, University of Peradeniya, Sri Lanka, ¹Department of Agricultural and Life Sciences, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, 80-8555, Obihiro, Japan.)

- 136 成長ホルモン放出ペプチド (GHRP-2) を利用したウシの胚生産向上に関する研究

○滝澤美紗子, 野中寿美恵, 佐々木 貴, 林 太平, 大澤健司, 橋爪 力, 村田亜希子¹, 阿部 進¹ (岩手大農, ¹家畜改セ岩手)

- 137 ウシ骨形成タンパク質 4 (BMP4) の cDNA クローニングと組換えタンパク質の作成

○高橋 透, 金山佳奈子, 橋爪一善¹ (農業生物資源研究所, ¹岩手大学)

- 138 ウシ下垂体後葉抽出物による反芻家畜のプロラクチン(PRL)分泌特性

○橋爪 力, 佐々木 貴, 林 太平, 野中寿美恵, 滝澤美紗子, 堀内麻未, 平田統一, 粕谷悦子¹ (岩手大農, ¹生物研)

- 139 分界条床核に投射するノルアドレナリン作動性神経のパルス状黄体形成ホルモン分泌抑制作用

○山田俊児, 前多敬一郎, 東村博子 (名大院生命農)

- 140 片側視床下部背内側核の破壊が片側吸乳刺激によるオキシトシン細胞のバースト発射誘起に及ぼす効果

○本田和正, 樋口 隆¹ (福井県立大看護, ¹福井大医統合生理)

- 141 母体内ジエチルスチルベスチロール曝露が産仔卵管に与える影響

○森田眞紀, 杉本実紀, 今西哲, 西澤華子, 久米新一, 眞鍋昇 (京大院農生体機構)

(着床・胎盤)

- 142 Mechanism of action of soy-derived isoflavones in prostaglandin synthesis in bovine

endometrium

○ Izabela Woclawek-Potocka, Anna Korzekwa, Kiyoshi Okuda¹, Dariusz J. Skarzynski
(Institute of Animal Reproduction and Food Research, Polish Academy of Sciences,
¹Laboratory of Reproductive Endocrinology, Faculty of Agriculture, Okayama University)

143 ウシ栄養膜細胞株 BT-1 の遺伝子発現解析

○牛澤浩一, 中野春男, 金山佳奈子, 徳永智之, 角田幸雄¹, 高橋透, 橋爪一善² (生物研,¹
近畿大農,²岩手大農)

144 ウシ子宮内膜間質細胞における IL-1 α の PGF_{2 α} 分泌促進機構におよぼす IFN- τ の影響

○谷川倫世¹, 高橋ひとみ^{1,2}, Acosta Tomas¹, 奥田潔¹ (¹岡山大院自然科研,²畜草研)

145 ラット胎盤におけるスピントラップ-EPR 法を用いた NO 産生と RT-PCR 法による NOS アイソフ
ォームの解析

○池田義則, 森 智絵美, 吉川 宏, 森田英利, 田中和明, 滝沢達也 (麻布大学)

146 マウスの着床関連分子の性周期にともなう発現パターンについて

○李東洙¹, 柳本佳子¹, 鈴木宏志^{1,2} (¹帯畜大原虫研,²東大院発生・医療工学)

(卵巣)

147 Expression and localization of Calbindin-D_{9k} protein in rat reproductive tissues during
gestation

○Eui-Ju Hong, Youn-Kyu Ji, Yong-Woo Jung, and Eui-Bae Jeung (Laboratory of Veterinary
Biochemistry and Molecular Biology, College of Veterinary Medicine, Chungbuk National
University)

148 Differential regulation of Calbindin-D_{9k} by estrogen receptor α and β in immature rat
ovary

○Geun-Shik Lee, Hoe-Jin Kim and Eui-Bae Jeung (Laboratory of Veterinary Biochemistry
and Molecular Biology, College of Veterinary Medicine, Chungbuk National University)

149 ウシ卵巣から精製された EPF 様物質の解析

○松原和衛, 遠藤久誉, 三上佳利, 高橋寿太郎, 高橋正弘¹, 齋藤文也¹ (岩手大,¹小岩井農
牧株式会社技術研究センター)

150 免疫不全マウス移植後のブタ卵胞の初期発育とアクチビン投与の影響

○金子浩之, 菊地和弘, 野口純子, 大沼克彦, 小沢学, 長谷川喜久¹ ((独)農業生物資源研究
所,¹北里大学)

151 ブタの卵胞の顆粒層細胞はアポトーシス・シグナルがミトコンドリアを介して伝達する II 型アポ
トーシス細胞である

○眞鍋昇, 松井俊勝¹, 後藤康文¹, 井上直子², 松田峯畑二子³, 前田章央¹, 阿南小有里¹, 杉

本実紀¹ (東大院農学生命科学高等動物教育研究センター,¹ 京大院農学生体機構,² 名大院生命農学動物形態情報,³ 東大院農学生命科学動物育種繁殖)

- 152 Apoptosis in the atretic follicles of swamp buffalo ovary
○Jun Babaan Feranil, Naoki Isobe, Toshihiko Nakao¹ (Graduate School for International Development and Cooperation, Hiroshima University, ¹Department of Veterinary Medicine, Faculty of Agriculture, Yamaguchi University)
- 153 ウシ黄体内への endothelin type A receptor-antagonist 投与が PGF_{2α} で誘起した黄体退行に及ぼす影響
○渡辺 翔, 白砂孔明, 松井基純, 山本 大, Schams D¹, 宮本明夫 (帯畜大,¹ ミュンヘン工科大)
- 154 黄体の機能的退行と低酸素環境の関係
○西村 亮, Acosta Tomas, 奥田 潔 (岡山大院自然科研)
- 155 ブタ周期性黄体における interleukin (IL) -4 ならびに IL-6 に関する研究
○作本亮介, 小松篤司¹, 粕谷悦子, 齋藤敏之, 奥田 潔² (生物研,¹ 畜草研,² 岡山大院自然科研)
- 156 主席卵胞の内因性 LH サージへの暴露が血管新生を伴うウシ黄体の形成を引き起こす
○松井基純, 林憲悟, Tomas J. Acosta¹, 宮本明夫 (帯畜大,¹ 現岡山大・院自然科学研)
- 157 腫瘍壊死因子の発情周期制御機構における NO および PG の役割
○Acosta Tomas, Deptula M. Katarzyna¹, 柴谷雅美, Bah M. Mamadou¹, Woclawek-Potocka Izabela¹, Piotrowska Katarzyna¹, Skarzynski J. Dariusz¹, 奥田 潔 (岡山大院自然科研,¹ ポーランド科学アカデミー)

(臨床・応用技術)

- 158 サラブレッド種雌ウマにおける経膈超音波ガイド卵胞吸引法 (TVUGFA) の検討
○南保泰雄, 佐藤文夫¹, 朝井洋, 渡辺元², 田谷一善² (JRA 日高,¹ JRA 総研,² 東京農工大学畜生理)
- 159 卵巢静止牛に対する性腺刺激ホルモン放出ホルモンおよびウマ絨毛性性腺刺激ホルモンの投与効果
○平田統一, 佐々木修一, 佐々木 修, 大澤健司, 橋爪 力 (岩手大学農学部)
- 160 乳牛の分娩後初回排卵の時期とエネルギー状態が卵巢機能再開と受胎率に及ぼす影響
○金子悦史, 川島千帆, 李仁炯, 山岸則夫, 大星健治, 松井基純, 宮本明夫 (帯畜大)
- 161 非 RI イムノアッセイによる過剰排卵処置牛の血中ブタ FSH 濃度の測定法
○角川博哉, 木村康二, 平子誠, 金子浩之¹ (畜産草地研究所,¹ 農業生物資源研究所)